

ひむか
—第8回 養心の会・日向—

～歌とお話しのひととき～



5月27日(日) 喜重会館

日向市原町4丁目 5-5

☎0982-52-2670

16:30～20:00(受付16:00)

会費 3,000円

★懇親会 (20:00～21:30)

食事代 別途 2,500円

梅原 司平さん「生命の賛歌」

懇親会場：喜重会館チャペル

この地球を
つつんで
しまうほど
大きな大きな
愛はないか
世界中を
笑顔で
満たすほど
大きな大きな
夢はないか
(中略)
滴る汗も
悔し涙も
すべては
未来を拓く力
歴史はいつも
諦めなかった
一人の願いで
扉を開く
たとえば君が
花なら
僕は土になる
たとえば僕が
風なら
君は空になる
「君は花 僕は風」
梅原司平／作詞

神渡 良平さん「地湧の菩薩たち-天と地を繋ぐ者-」

人間は御仏の生まれ変わりであり、地から湧き出た菩薩だという
神渡先生の間人観にはいたく共感します —鍵山秀三郎氏—

●梅原 司平さん：埼玉県在住（富山県出身）シンガーソングライター / 1971年音楽活動を開始。
1979年CBSソニーオーディション関東甲信越代表。1980年ソニーより念願の全国デビュー。しかしレコードは売れず、原点に帰り様々な出会いから歌を創作。1982年「折り鶴」を発表。歌を通して数多くの出会いを重ねる。2003年NHKラジオ深夜便「こころの時代」出演。2008年キングレコードより再デビュー。同年講談社より『売れない歌手でよかった』刊行。2011年3月11日東日本大震災の日、帰宅困難の中で「うたのちから」を創作。2016年45周年記念アルバム『森羅万象』発売。2017年「折り鶴」合唱譜&CDセット発売。70歳をこえた現在も創作活動やコンサートを通して全国各地に愛と平和の歌を届けている。宮崎県内でのコンサート多数。

●神渡良平さん：千葉県在住（鹿児島県出身）。作家。
九州大学医学部を中退後、雑誌記者などを職業を経て作家に。38歳の時、脳梗塞で倒れ一時は半身不随となるが、必死のリハビリにより社会復帰を果たす。そして、この宇宙には大きな仕組みがあり、それに即した建設的で前向きな生き方をした時、実りある人生が築けることに目覚める。「人生は一度だけ。貴重な人生を取りこぼさないためにはどうしたらよいか」という問題意識が作品の底流となっている。
近著に「アメージング・グレイス-魂の夜明け」「苦しみとの向き合い方 言志四録の人間学」等著書多数。

お申込は FAX専用(0982)52-0130 この用紙を送信して下さい

☎090-9563-4573(鈴木) ※お電話/FBコメント/メッセージでのお申込みOK

申込締切：5月20日(月) 講演会、懇親会共ににお席に限りがあります。お早めのお申し込みをお願い致します ♡懇親会には、梅原司平さん、神渡良平さんも同席されます♡

【参加申込書】 お名前 () ※お連れ様 名

ご住所 (〒)

お電話 ()

★懇親会に ・参加する ・参加しない (どちらかに○をおつけください)

—以前に養心の会・日向に参加して頂いた方にご案内させて頂きました。寄せられた個人情報厳重に管理いたします—

1997年6月13日

30余名の仲間と実行委員会を立ち上げ、初めての梅原司平さんのコンサート開催から21年。約10年間、仲間たちと続けてきました。その間から今まで、コンサートがあちこちに繋がり日向市や宮崎県内で開催された梅原さんのコンサートは学校コンサートを始め数えきれません。

私たち実行委員会開催コンサートのアンケートは、毎回膨大な枚数でしたが心に残っている感想があります。

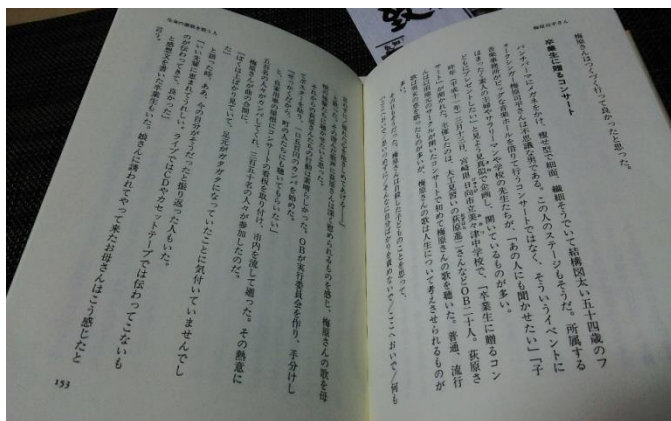
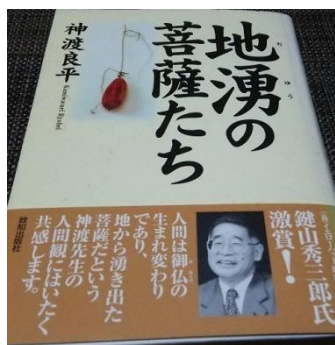
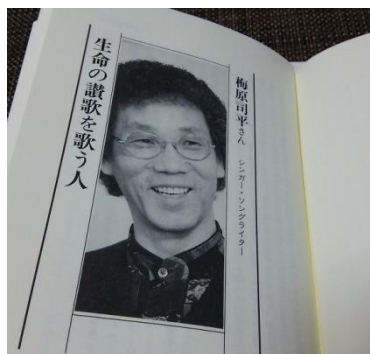
初めて足を運んだコンサートの感想に10代後半の男性はこう書いてくれました。

「最近沖縄に行ったんです。司平さんの歌を聴いていると顔も名前も知らないけどあの戦争で死んでいった人たちのことが浮かび涙がこぼれたです。感想を書いているおばちゃんたちの顔、隣できつたねえ字でびっしり感想を書いている俺の大切な友、前の席で涙をふきとるおばちゃん。おりゃ、やっぱり人間が好きばい。流れる涙を久し振りになめちみしました。なかなかいける味やと俺は思う。この涙をおりゃ忘れんばい。動け、動け、動かににやいかん。司平さん、おりゃ、今、ここにおるこつが心の底から嬉しく思うばい。今日、来て良かった～」

この男性は、翌年の2回目コンサートから実行委員に自らなってくれました。

また、梅原さんのコンサートを自分が卒業した中学校の生徒たちに聴かせたいと、しかも無料で！そして、梅原さんの出演料を捻出するために一口500円の募金活動を始めたのです。この取り組みは、神渡先生の著書「地湧の菩薩たち」に描かれています。

この度の「養心の会・日向」では、梅原さんの歌声をもう一度聴きたいという声が寄せられ神渡先生とのコラボで企画することになりました。



そして、また、40代の女性は「梅原さんのお話しや歌は私の心の琴線に響きました。生きている間にどれだけの感動に出会うかによってその人の人生が決まると聞いたことがあります。今日は感動を沢山いただきました」と。

私も「感動」は、生きるうえでのビタミン剤だと思っているので、なるだけ「感動」を飲むようにしています(笑)そして、飲み込むと誰かに伝えたくて動きたくなります(笑笑)

また、聴覚に障がいがある方たちのために開いたコンサートは、NHK手話ニュースでお馴染みの田中清さんにお越し頂いて日向市や延岡市、門川町の手話サークルの方々、パソコンによる要約筆記はとにかくパソコンを早打ち出来る人を探し、楽屋裏では10数名の方がキーボードに向かい梅原さんのアドリブのどちらかと言えば長〜いお喋りをほぼ完璧にスクリーンに打ち出しました。視覚に障がいがある方たちのためには点字付きのパンフレットも用意し、実行委員の想いを結集したバリアフリーのコンサートは、実行委員もお客さまも心に残るコンサートだったと思います。

「音は聴こえなくても手話に集中していて手話の豊かさが心に響きました」

「音は聴こえないが心の豊かさや優しさが感じられるコンサートでした」

「耳が不自由なため、音楽とは縁遠いが手話や要約筆記があれば音楽を通じて心を豊かにできます」

いつかまたこのようなバリアフリーなコンサートが何処かで芽生えたら嬉しいですね。